

リハビリテーション科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] IMP SPECT を用いた頭部外傷後高次脳機能障害の臨床的評価

[研究機関] 北海道大学病院核医学診療科およびリハビリテーション科

[研究責任者] 真鍋 治（医学研究科 核医学分野・助教）

[研究の目的] 脳血流 SPECT を用いて局所の脳機能を、神経心理テストを用いて高次脳機能障害を評価し、安静時の局所脳血流が頭部外傷後にどのような傾向を持って低下するのか、またその重症度と高次脳機能障害がどのように関連するのかについて検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008年9月から2014年8月に、間に北海道大学病院リハビリテーション科に頭部外傷後の高次脳機能障害のリハビリテーション治療目的のため入院し、I-123 IMP を用いた脳血流 SPECT を施行した方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、IMP SPECT 検査所見、MRI 検査所見、神経心理テスト結果、治療経過

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目
北海道大学病院核医学診療科 担当医師 真鍋 治
電話 011-706-5762 FAX 011-706-7711